

## 「日中学生激論～私達が語り合った夏、私達の未来～」

- 日時：10月26日
- 会場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
国際交流棟国際会議室
- 共催：OVAL、京英会、京論壇、日中学生会議、日中交流団体 freebird、LEAF（五十音順）
- 協力：国際交流基金日中交流センター、中国留学生交流支援立志会、日中学生交流連盟事務局、
- **タイムテーブル**
  - 第一部 14:00~17:00：本プログラム
  - 第二部 17:30~20:00：懇親交流会プログラム
  - **パネルディスカッション 1（14：35～15：15）**
    - 司会：林 宏熙（日中学生交流連盟事務局）
    - パネリスト： \*五十音順  
三林 尚平（OVAL）  
中山一貴（京英会）  
清水勇祐（京論壇）  
澤隼（日中学生会議）  
上條勝也（Freebird）
    - テーマ：なぜ学生は国際交流をするのか～学生団体を通じた国際交流の姿に迫る～  
世界が縮小し続ける中、学生は何を思って国際交流に携わるのだろうか。彼らの思い描く国際交流とは？国際交流とはどうあるべきなのか。学生団体で得た経験を基に、個々の学生がそれぞれの立場から国際交流に対する思いをぶつけよう。
  - **ブース説明会（1部 15：20～15:35 / 2部 15:35～15：50）**

ブース説明会では、各学生団体の夏の活動報告説明を行います。また、聞き手は自由に興味のある団体の発表を聞きに行くことができます。
  - **パネルディスカッション 2（15：55～16：40）**
    - 司会：高原明夫教授
    - 特別ゲスト：丁寧様
    - パネリスト： \*五十音順  
曾静博（京英会）  
渡邊紗世（京論壇）  
高田和寧（日中学生会議）  
杉本美泉（Freebird）  
瀬尾光平（LEAF）
    - テーマ：歴史教育と国民感情～私達が交わした夏の激論～
      - 概要：各加盟団体は、今年の夏に中国の学生と「歴史と教育」をテーマに議論を交わした。その議論の結果を基に、学生が有識者と共に両国の「歴史と教育」を語り、どのように今後の日中の国民感情を改善するかを議論する。

○ ゲスト講師紹介：

● パネルディスカッション2司会：高原 明生教授（たかはら あきお）

日本の政治学者、東京大学大学院法学政治学研究科教授。現代中国政治、東アジア国際政治が専門。

兵庫県神戸市生まれ。東京大学法学部卒業後、サセックス大学大学院で修士課程および博士課程修了（D.Phil）。笹川平和財団研究員、在香港日本国総領事館専門調査員、桜美林大学国際学部専任講師・助教授、立教大学法学部助教授・教授を経て、2005年から現職。

● 講評：天児 慧教授（あまこ さとし）

稲田大学大学院教授、第16代アジア政経学会理事長。

日本の政治学者。社会学博士（一橋大学）。

早稲田大学国際学術院、大学院アジア太平洋研究科教授。朝日新聞書評委員も務める。

専門は、中国政治、現代中国論、現代アジア論、東アジア国際関係論。1999年から

2001年までアジア政経学会理事長を務めた。1989年、第1回アジア・太平洋賞特別賞を受賞。

**日中学生交流連盟 (Japan China Student Frontier Group)**

当団体は日中間の交流活動を行っている学生団体が連盟で運営しているグループです。日中相互の理解と発展に向けて連携していきます。

\* 主催6団体のプロフィールもご覧いただけます。

E-mail: [jcsf.frontier@gmail.com](mailto:jcsf.frontier@gmail.com)

Homepage : <http://jcsf.jp/wordpress/>

Facebook イベントページ : <https://www.facebook.com/events/524216050995752/>